



長年にわたる畜産業への貢献を称えて

3月31日、大隅地域振興局で、「令和元年度鹿児島県農業功労者表彰」を受賞した牛留道夫さん(祇川町)への表彰式が行われました。これは、牛留さんが鹿児島県黒豚生産者協議会の会長を務められるなど、長年にわたる畜産業への貢献が評価され受賞したものです。牛留さんは「今後も消費者に美味しいといってもらえる黒豚を生産していきたい」と話しました。



産婦人科病院跡地を市民の憩いの場に

3月30日、大手町に完成した「しのぶ公園」の開園式が行われました。この公園は、同地で産婦人科病院を運営していた故・永井 忍 氏の弟である永井道文さん(社会福祉法人舞鶴会 理事長)が、市民のために役立ててほしいとその跡地を公園に整備し寄贈したものです。公園の入口には、故人が好きだった金柑の木が植栽され、訪れた人たちを出迎えています。



新たな特産品が誕生

3月27日、市役所で、「令和元年度売れる商品づくり応援事業補助金」を活用して開発された商品の試食会が開催されました。この日、試食されたのは惣菜等の販売店「Hacchi」(寿3丁目)を営むPLOW A LAND株式会社が3年の歳月をかけて開発した「熟成かんぱち」。出席者は、熟成によって生まれた味わい深い旨味と柔らかい食感を堪能しました。



外国人も暮らしやすいまちに

3月23日、アネット有限会社の農場(川東町)で、「外国人のための生活便利帳」が贈呈されました。これは、同社のベトナム人技能実習生に、便利帳の翻訳の校正を手伝っていただいたお礼に手渡したものです。便利帳は行政サービスなどの情報をベトナム語・タガログ語・英語・中国語・タイ語に翻訳しており、市役所窓口や市内の技能実習受入企業に配布しました。



1年を振り返り飛躍を誓う

3月23日、プロサイクリングチーム「シエルブルー鹿屋」の選手が令和元年度の活動報告のために市役所を訪れました。選手は昨年度の活動を振り返り、今年にかける熱い思いを述べました。



江戸時代から続く伝統の「柴掛け」

3月14日、串良町細山田の川原園井堰で「柴掛け」が行われました。串良地域の水田に水を供給するために約380年前から続くこの作業は、市の無形民俗文化財に指定されています。



農業・農村の魅力を写真で表現

3月13日～19日、市役所で、「第28回かごしまフォト農美展」の巡回展示が開催されました。最高賞を受賞した別府和代さん(南町)の作品をはじめ、農業の魅力を表現した28点の作品が展示されました。